

マレーシア・マレー半島沖における新規探鉱鉱区の取得について

当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、当社子会社であるジャパンエナジーマレーシア石油開発株式会社(本社:東京都港区赤坂一丁目、社長:中村雅弘)を通じて、本4月7日、マレーシア・マレー半島の東方沖合い約150kmの海上に位置するPM308A鉱区を取得し、マレーシア国営石油会社ペトロナスと生産分与契約を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社は、東南アジアを当社上流部門における重点地域のひとつと位置付け、同地域での鉱区取得を目指しております。今回の施策もその一環であり、PM308A鉱区は周辺に油田が存在する有望な鉱区であることから、当社としては同鉱区での新たな油田の発見を期待しております。

記

1. プロジェクト概要

(1) 鉱区名	PM308A鉱区	
(2) 契約締結日	2008年4月7日	
(3) 鉱区面積	約5,500 km ²	
(4) 権益比率	ジャパンエナジーマレーシア石油開発株式会社	20%
	Lundin Malaysia B.V.	35%
	PETRONAS CARIGALI SDN. BHD. ※	25%
	新日石開発・半島マレーシア株式会社	20%
(5) オペレーター	Lundin Malaysia B.V.	

※ ペトロナスの100%子会社

2. 作業概要

1. 探鉱期間 5年間(2008年4月～2013年4月)
2. 予定作業 地震探鉱作業、試掘4坑ほか

以上

マレーシア PM308A 鉱区位置 (東側の黄色部分)

